

森林環境譲与税有効活用を

市野瀬地区をそのモデルに



あさの しげうち 議員 浅野 修一

と、関係者全体の同意の取得に向けた作業を早期に進める。

問 9月の豪雨では、山からの泥水で海は数日間濁った。海への悪影響が大いに懸念される。町は現状をどう見るのか。

答 今西海洋森林課長

問 森林環境譲与税は、山の整備による国土強靱化を目的に創設された。現在、町に対する山の管理の委託はどれほどか。

答 今西海洋森林課長

町の取り組みとしては、市野瀬地区をそのモデルに、令和元年度から山林境界などの明確化に着手している。地域の方向性としては7割が委託の方向である。

今後、施業のために必要となる集積計画の作成



山からの土砂の流出で、狭小となった蜷川の河口 (上川口漁港の西側、令和3年12月13日)

答 9月17日の台風14号の豪雨では、佐賀漁港の水産業への大きな影響には至っていない。同じく、入野地区の蜷瀬川水系についてもモジャコの出荷は終わっており、直接の影響はなかった。

また、蜷川地区における山林施業は平成31年度より令和2年の2月まで行われ、開発面積はおよそ16・48ヘクタールを伐採。伐採後の現地につい

ては、今後植栽の予定はなく、天然更新の状態であると聞くと、蜷川の濁りは伐採自体がその要因だけではないと考えている。今後、森林環境譲与税も活用しつつ、山地の荒廃を防ぎ、公益的な機能を高め、豊かな森づくりにつなげたい。

問 山の保全是水道水への影響が大きいと思うが、町の考えは。

答 森田建設課長

大方地域の上水道の水源は、上川口と鞭に取水施設があるが、両取水とも浅層地下水からの取水となっており、特に蜷川については、豪雨により河川に濁りが長期間続くと取水の方に影響が出てきている。

色々な要素があると思うが、森林管理を適切に行うことが必要であると考える。

問 私有林への進入道路の整備に補助金制度を創設できないか。

答 今西海洋森林課長

県の補助事業などが一部あるが、町の補助事業

については現在制度設計の想定はない。里山の整備に関しては、高知県森と緑の会が実施する森林山村多面的機能発揮対策交付金において補助を実施している。

防犯対策

国道沿いの要所に防犯カメラを

問 防犯カメラは、犯罪の抑止にもなり町民の安心、安全につながる。

答 徳廣情報防災課長

現在、町内には教育委員会が設置している子ども見守りカメラがあるが、

高知県街頭防犯カメラ等設置支援補助金により設置費用の補助金を受けて設置している。事件、事故の解決策、および犯罪抑止の効果はありと考えるが、現在のところ設置する計画はない。設置が必要と認められる場所については、道路管理者である国土交通省や地区等関係機関と協議していきたい。



土佐佐賀駅に設置の見守りカメラ (①土佐佐賀駅前、②佐賀駅線路下)